

恒久平和実現への誓いを新たに



▲遺族による献花

12月14日、まいピア高田でみやま市戦没者追悼式が開催されました。新型コロナウイルス感染症対策のため、例年より規模を縮小し、遺族の代表や関係者など約40人が参列。戦争で亡くなった1600柱の御霊に対して追悼の誠をささげました。みやま市遺族会会長の野田清さんは、「二度と戦没者遺族を出してはなりません。戦争を風化させることなく、真実を後世に伝えていきます」と述べられました。

ゴールを目指し、たすきをつなぐ



▲小学生男子・女子、楽走の部

- 小学生男子  
優勝=高田マリナーズA  
準優勝=みやまスピッツA
- 小学生女子  
優勝=みやまクイーンズB  
準優勝=みやまクイーンズA
- 中学生男子  
優勝=筑後リバーズA  
準優勝=筑後リバーズC
- 中学生女子  
優勝=瀬高中学校 陸上部(女子)
- 一般  
優勝=みやま市走ろう会A  
準優勝=みやま消防A
- 楽走  
優勝=ひまわりSports  
準優勝=桜舞館ジュニアソフトボールクラブ

12月12日、第15回みやま市民駅伝大会が保健医療経営大学で開催され、計47チームが参加しました。結果は次のとおりです。

みやま市出身力士 坂井さん



みやま市出身の力士で、大嶽部屋に所属する坂井翔二さんが11月29日市役所を訪れました。現在、三段目の坂井さんが、角界を

目指したきっかけは元大関琴奨菊(現秀ノ山親方)。「地元はのんびりしていて落ち着きます。秀ノ山親方は、自分にとっては雲の上の存在、あこがれの存在です。そんな地元のスターの存在に感謝しています。」市長は「健康に留意して頑張ってください」と激励しました。



みやま市から横綱を



12月3日、元大関・琴奨菊こと秀ノ山親方が親方襲名報告のために市役所を訪れました。秀ノ山親方は「いつもあたたかく迎えてくれた地元の方々に感謝しています。これからは、相撲を通して地元の子どもたちとふれあう機会を作っていきたいです。みやま市からも横綱になれる力士を育てたいと思っています」と今後の目標を力強く話されました。

👑 おめでとう・ありがとう 🍀



全国U15バスケットボール選手権大会出場  
大津山 晃崇さん  
(下関 MAJESTICS / 山川中3年)



九州硬式空手道選手権大会3位  
田中 綾楓さん  
(空真会 / 瀬高小6年)



みやまいまち会より  
「災害復興に役立ててほしい」と  
寄付金の贈呈



国際ソロプチミスト柳川より  
赤い羽根共同募金の贈呈



県営筑後広域公園プール利用者50万人達成  
50万人目の瀬高町在住 中島ケイ子さん (左側)

地域の安全は地域で守る



▲避難誘導シミュレーションを体験

12月12日、まいピア高田で江浦校区自主防災組織関係の皆さんが防災研修会に参加しました。地図上に避難所や危険箇所を書き込んで、要支援者の避難行動について検討する図上訓練(DIY)や、避難所を自主的に開設・運営するシミュレーション訓練(HUS)を体験し、課題等を共有しました。参加者からは「普段からの声かけが必要だとわかった」などの感想が発表されました。

自身を育ててくれた地元へ貢献したい



▲株式会社くればあ代表取締役会長 中河原さん (中央)

12月8日、株式会社くればあ代表取締役会長の中河原四郎さん(愛知県豊橋市在住)が市役所を訪れました。中河原さんは旭日単光章を受章され、これを機に自身を育ててくれたみやま市に貢献したいという思いで、市および母校である二川小学校・高田中学校に各200万円を寄贈されました。中河原さんは「新型コロナウイルス対策や子どもたちの教育に役立てて欲しい」と話されました。